

東北地方太平洋沖地震 生活支援情報放映中

Northeastern Pacific Ocean earthquake
Information broadcasted Disaster Life Support

東北太平洋地震
情報播報災害生命支持

동북 지방 태평양 지진
재해 생활 지원 정보 방영중

各地域の災害情報確認は
NHK各放送局災害情報でご確認ください

NHK各放送局災害情報

<http://www3.nhk.or.jp/saigai/jishin/>

チェーンメールにご注意下さい！

東北地方太平洋沖地震に関連して、チェーンメール、
電子掲示板、ミニブログなどで、誤った情報が流れています。

チェーンメールを転送することは、いたずらに不安感をおおることにつながります。
チェーンメールを受け取った時は、すみやかに削除して転送を止めてください。

報道や行政機関のウェブサイト等の信頼できる情報源で真偽を確かめ、
これらのチェーンメール等に惑わされないようにしましょう。

宮城県警察が相談電話

宮城県警察本部では今回の地震と津波で行方が
わからなくなっている人についての相談電話を設置。

警察が安否を把握している場合は情報を
提供するということです。



022-221-2000

当面は24時間対応。

災害時の避難所について

都道府県避難施設一覧については、
内閣官房 国民保護ポータルサイトにて
ご確認ください。

内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/hinan/>

献血にご協力ください

日本赤十字社では、東北地方太平洋沖地震で被災さ
れた方の尊い生命を救うため、16歳から69歳ま
での健康な方に献血のご協力をお願いしています。

日本赤十字社Webサイト

<http://www.jrc.or.jp/>



緊急地震速報に係る悪質商法や
不審な人物などにご注意ください

募金などの詐欺にご注意ください

災害に乗じて、募金と称した詐欺が
出現することがあります。
募金の際は十分ご注意ください。

SOS時の緊急連絡先

警察は 110番

救急車・消防隊は 119番

海での災害の際には 118番
(海上保安庁)



au【災害用伝言掲示板】

携帯からの安否情報の登録確認は

EZ Web

トップメニューまたはau oneトップ

災害用伝言板

※確認は全国で行えます。 ※他社携帯電話、PCからも確認できます。

WILLCOM【災害用伝言掲示板】

携帯からの安否情報の登録確認は

公式サイトH" LINKのトップページから「災害用伝言板」を選択（<http://dengon.clubh.ne.jp>）

「災害用伝言板」の中の「登録」を選択します。

安否情報を登録後、送信します。

安否情報を知らせたい相手のメールアドレスを登録すれば自動でメールが送られます。

※確認は全国で行えます。 ※他社携帯電話、PCからも確認できます。

ソフトバンク【災害用伝言掲示板】

携帯からの安否情報の登録確認は

Yahoo!ケータイのトップから「災害用伝言板」を選択。（大規模災害発生時にはMySoftBankにリンクを表示。）

「登録」を選択します。

安否情報を登録後、送信します。

安否情報を知らせたい相手のメールアドレスを登録すれば自動でメールが送られます。

※確認は全国で行えます。 ※他社携帯電話、PCからも確認できます。

docomo【災害用伝言掲示板】

携帯からの安否情報の登録確認は

「iMenu」のトップに表示される「災害用伝言板」を選択。

「災害用伝言板」の中の「登録」を選択。

安否情報を登録後、送信します。

安否情報を知らせたい相手のメールアドレスを登録すれば自動でメールが送られます。

※確認は全国で行えます。 ※他社携帯電話、PCからも確認できます。

インターネットの安否確認方法

Googleで安否確認できるサイトがあります。



Google Person Finder

<http://japan.person-finder.appspot.com/?lang=ja>

PCでインターネットをお使いの方は、各検索サイトでgoogle 安否確認で検索して登録ください。携帯からは検索後、PCサイトのGoogle Person Finderのページをお使いください。

NHK安否情報放送

（テレビ、ラジオ使える方限定）

NHKでは安否情報に関する放送をします。

次の電話番号にご家族の状況やメッセージをお寄せください。

03-5452-8800 050-3369-9680
050-3369-9660

ラジオ第2では外国人向けの災害情報として、総合テレビで放送中の英語、韓国語、中国語、ポルトガル語の副音声で津波警報が解除されるまで放送します。

災害用伝言ダイヤル使い方

（固定電話を持っている方）

◆被災者の方

1. 伝言ダイヤル「171」を押す。
2. 「1」を押す
3. 自宅の電話番号を押す。
4. 伝言を録音する。（30秒）

◆安否を確認したい方

1. 伝言ダイヤル「171」を押す。
2. 「2」を押す
3. 安否を確認したい方の電話番号を押す。
4. 録音された伝言を再生する。

※伝言を残す方は自分の安否と同時に現在の避難場所も伝えてください。

災害用伝言ダイヤルは48時間保存されます。

【警察総合相談電話番号】

警察総合相談電話番号はこちらで御確認できます。

<http://www.cia-3.net/hanzai2.html>

岩手県（行方不明者相談ダイヤル）0120-801-471

宮城県（行方不明者相談ダイヤル）022-221-2000

福島県（行方不明者相談ダイヤル）0120-510-186

御利用の際は、行方不明の方の氏名、性別、血液型、身体特徴をお伝えください。

東北関東大震災義援金にご協力を

この度の東北及び関東地方を襲った大地震の被害にあわれた方々へ、心からお見舞い申し上げます。

口座記号番号 **00140-8-507**
 郵便局・ゆうちょ銀行
 口座加入者名 **日本赤十字社 東北関東大震災義援金**
 取扱期間 **平成23年3月14日(月)～平成23年9月30日(金)**

※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。
 ※郵便窓口でお受け取りいただきました半券(受領証)は、大切に保管してください。
 ※通信欄にお名前、ご住所、お電話番号を記載してください。

クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easyによる
 ご協力の詳細は日本赤十字社ホームページ (<http://www.jrc.or.jp/>) をご覧ください。

担当窓口 **日本赤十字社 東北関東大震災義援金担当**
 Tel: 03-3437-7081 E-mail: info@jrc.or.jp

グループ
避難所名簿共有サービス

- 1 名簿(手書き可)の写真を携帯電話のカメラで撮影。
(お手持ちの携帯にGPS機能が付いている場合、位置情報を添付していただくと、Picasa上で地図と一緒に表示することができます。)
- 2 メールの件名に「避難所名」を設定してください。
件名に入力した避難所名が、写真共有サービス Picasa 上で自動的に画像の説明に入力されます。
- 3 メールに添付して、**tohoku.anpi.google@picasa**
web.com まで送ってください。
自動的に Picasa ウェブアルバムにアップロードされます。複数の画像を同時にお送りいただいても大丈夫です。(QRコードからもメールアドレスを取得できます)
- 4 送信していただいた画像は、Picasaウェブアルバム
 (URL: goo.gl/ganbare) でご確認ください。



<http://goo.gl/ganbare>

停電時の注意点

- 電話は固定電話が使えなくなるため、携帯電話や公衆電話を利用する。
- インターネットも使えなくなるため、災害の情報などを得るには携帯ラジオが有効。
- 出かける場合にはブレーカーを落としてから外出する。

停電時の注意点

- 家電製品による火災にも注意が必要です。

停電から復旧したあと火災の原因となるおそれがあるため、アイロンやストーブ、ヒーターなどの家電製品はコンセントを抜いておくようにしましょう。

停電時の注意点

- エレベーターやインターホン、オートロックのドアは使えなくなります。
計画停電の時間が近づいたら、エレベーターに乗らず、階段などを利用するようにして下さい。
- マンションの給水ポンプが停止して断水するおそれもあります。
飲料用の水をやかんなどにくみ置きしたり、生活用水として使う水を浴槽にためたりすることも大切です。

停電時の注意点

- 冷蔵庫はドアを閉めていれば冷蔵庫内の温度が急激に上がることは避けられます。
冷凍食品などは保冷剤を入れたクーラーボックスに入れておくのがよいでしょう。
- 停電時には多くの交差点で信号が消える可能性があります。
停電している地域では車やバイクの移動をなるべく控え、利用する場合には速度を落として通行して下さい。

節電へのご協力のお願い

今回の地震によって、東京電力及び東北電力管内の電力供給設備に大きな被害が出ています。
 電気の使用に当たっては、極力節電頂きますよう、国民の皆様のご協力をお願い致します。

皆様へご協力をお願い

節電にご協力下さい。

※18時～19時は特に電力不足が予想されます。
 節電にご協力を。



節電にご協力ください

- ☐ 日中はもちろん、夜も必要以上の電気は点けない。
- ☐ 服を厚めに着る、カーテンを閉めるなどの工夫をして、暖房器具は使わない。
- ☐ 待機電力を抑える為、使わない電化製品のコンセントを抜く。
- ☐ 洗濯や料理はピークタイム(18時～19時)を避け、早めに行う。